

花巻市男女共同参画審議会「花巻市における男女共同参画の推進に係る意見書」に係る取組状況調査

意見書項目	内 容	男女共同参画基本計画の 施策体系	施策に関連 する部署	平成21年度事業実施に係る取組内容	取組結果
1 事業点検に 関すること	(1) 事業対象者の数値把握が不十分な事例が散見される。市の男女共同参画基本計画に基本目標ごとの明確な指標が設定されていないとしても、事業効果を高めるために、目標数値を明確にした上で、事業を実施すること。	基本計画の推進	市民協働・ 男女参画推進課	事業概要に成果指標(目標数値)を記載。数値については事務事業評価シート又は事業ヒアリング時に聞き取りを実施し把握。	
	(2) 事業評価に当たっては、実施に伴う「課題・問題の発見」「やりがい・楽しさ・組織(人)の醸成」など、目に見えない要素(変化)も加味することが望ましいこと。	基本計画の推進	市民協働・ 男女参画推進課	事業効果や課題の把握ができるよう、自己チェック表の様式を変更。数値では把握できない事業効果や感想について事業ヒアリング時に聞き取りを実施。学習事業などは、可能な限り参加者アンケートや感想の聞き取りを行なうよう指導。	
	(3) 男女共同参画推進幹事会の意見を了とする。今後において、市職員個々が男女共同参画の視点をもって事業を行なうとともに、優良事例については、各課等において情報の共有を進め、積極的に取り組まれないこと。	基本計画の推進	市民協働・ 男女参画推進課	男女共同参画に関する職員研修を実施。(平成20年度からは年2回開催。21年度は10月に実施、22年1月に実施予定。)優良事例については、実施事業の参考にしてもらうため、自己チェックの概要を各課に送付。	
2 事業の実施に 関すること	(1) 生涯学習講座や女性学級等の実施に当たっては、子育て中の母親も参加できるよう、開催時間や保育の実施等について工夫するなど、子育て中の女性が社会参画できるよう支援すること。	男女共同参画に関する啓発事業の推進 地域における健康づくりの推進 生涯にわたりスポーツ活動ができる環境の整備 学習機会の提供と人材の育成 国際的な理解と交流の推進	企画調整課 国際交流室	語学講座の開講時間を工夫し、夜だけでなく、昼間にも開講した。異文化理解サロン(毎月1回)やワンダフルキッチン(年3回)を平日だけでなく、休日も開催した。	小・中学生の子供を持つ女性の参加は比較的增加した。
			市民協働・ 男女参画推進課	男女共同参画意識啓発事業(講座等の開催)は、こどもセンターの協力により全て保育を実施。平成21年度は全実施事業を日曜日に開催。男女共同参画推進フォーラムは手話通訳を実施。	講座のアンケートで「保育があるので参加した」という回答があった。フォーラムで「手話通訳があるので参加する気になった」という声が聞かれた。
			地域づくり課	・生涯学習講座については、市民講座をはじめ、アフターファイブスクール、富士大学花巻市民セミナー、高齢者学級、女性学級などを開催しているが、従前より、日中に開催の講座のほかに、夜間に講座を開設するなど、ワークライフバランスに配慮した開催形態をとっているところである。 ・家庭教育に係る知識の習得等を目的に、市内幼稚園・保育園園児・小・中学校児童生徒を対象に実施してきた家庭教育講座(家庭教育支援事業)を子育てサークルにも拡大した。	・家庭教育講座については、子育てサークルの活動があり、もって、子育て支援の推進と家庭教育に係る知識の習得等に資することが出来た。
			花北 振興センター	・子育て中の親が交流できるような親子教室を開催し、子育ての支援をした。 ・男女共同参画の啓発事業として、高齢者学級で男女共同参画の寸劇を取り入れた。 ・地域の健康づくりの推進として、健康運動教室を開催する。(1月～2月)	
			花巻中央 振興センター	若い世代の参加を目的に開設する趣味講座に託児室を設ける。	平成22年2月開設予定
			湯本 振興センター	・講座の開設については、参加しやすい時間帯を選び開催するようにしている。 ・親子で参加出来るような、親子陶芸や親子スケートなどの教室を開催している。 ・男女共同参画の事業として、高齢者大学で男女共同参画の映画鑑賞をおこなった。	
			矢沢 振興センター	これまで開催時間は日中の開催であったが、子育てや仕事をされている住民が参加しやすくなるよう、2講座について夜間の開催を予定している(12～3月)。	
			笹間 振興センター	地区民の要望にできるだけこたえるように開催している(講座により日中や夜間及び休日開催を実施している)。	
			大迫 振興センター	これまでも、講座の内容により平日を避けて開催日を設定している。更に、子育て中の女性も参加しやすいよう土・日に講座の開催を予定している。(12月中)	
			内川目 振興センター	講座開設にあたっては、地域の要望に応えるよう土日、夜間に開設している。	
			外川目 振興センター	講座等の日程や内容については、子育て中の母親を含め地域民が参加しやすい日程に配慮して設定している。また、子どもと一緒に居る環境や意識の醸成に努めている。	
			亀ヶ森 振興センター	各種スポーツ大会の実施。	
			好地 振興センター	地域の団体と協力して ・三世代で参加できるスポーツ大会を開催 ・高齢者向けのスポーツ教室を開催 ・地区民文化祭でラットランドとの交流の歴史を展示紹介(石鳥谷ラットランド交流協会との協力による)	関係団体の協力により事業を実施することができたが、一部新型インフルエンザの影響で中止した事業もある。
			大瀬川 振興センター	講座の企画段階から、女性の意見を聞きながら、実施内容・開催時期を設定している。	
			八日市 振興センター	平日日中の開催をできるだけ避け、夜間及び休日に講座の開催を実施。	
			八重畑 振興センター	婦人団体の要望を聞き、参加しやすい日時を設定して実施。	
			新堀 振興センター	地域内の女性団体の意向を確認しながら、講座内容、時期等を設定している。子育て中の女性の参加については特に配慮していない。(但し、コミュニティ会議事業のなかで、子育て中の母親を対象とした事業の実施に当たっては、保育士経験者の協力を頂くことや、託児室を設けることなどを配慮する予定である。)	
			小山田 振興センター	平日の開催はできるだけ避け、土日に各種行事を開催するよう計画している。また、子育て中の女性も参加しやすいよう、スポーツ大会においては夫婦での参加や、男女とも年齢別に参加者を募集した。冬のスポーツに親むむことを目的として、親子で参加するスキー教室を開催する。	
			成島 振興センター	生涯学習事業運営委員から開催時期等についての意見を聞きながら、各講座をできるだけ土日に計画するとともに子育て中の方々も参加できる会場を成島保育園にするなど配慮した。ゲートボール大会やゴルフ大会等のスポーツ大会は日曜日に開催し、地域の方々が気軽に参加できるよう配慮した。	
			スポーツ振興課	マラソン大会・ボート大会・スポーツ教室などにおいて、子供・女性・男性・男女などが参加できる幅広い部門の競技内容を設定して、市民が参加しやすいスポーツの場を提供している。	ボート大会 H21男子36チーム 親子チーム16チーム 男女22女子14
健康づくり課	育児学級や離乳食教室等は母親(親子)参加型の講座としている。パパママ学級は参加しやすいように土曜日に開催している。各種健診は日曜健診を取り入れている。女性のがん検診は個別検診も取り入れている。	休日検診は健診は比較的苦しい人の受診者が多くなった。			
(2) 家族経営協定を推進するため、現在、女性農業委員のみとなっている事業アドバイザーに、男性農業委員を加えること。	農業経営における女性の参画の促進	農業委員会 事務局	家族経営協定を推進するため、女性農業委員のみならず、男性農業委員も家族経営協定アドバイザーに委嘱し事業の充実を図る。	H21年8月に、男性農業委員4名をアドバイザーに委嘱。男性4名、女性4名、計8名に委嘱。	

意見書項目	内 容	男女共同参画基本計画の 施策体系	施策に関連 する部署	平成21年度事業実施に係る取組内容	取 組 結 果	
2	事業の実施に関する事 (3)	少子高齢化問題に直結した事業については、十分な予算を配分し、事業内容の充実を図ること。	安心して子育てができる環境の整備 介護を社会的に支える体制の整備	こども課	・子育て支援機能の充実、子育て相談事業の推進 相談機能等の充実のため、こどもセンターの開設日を週6日から週7日にするるとともに、施設の拡充を行った。 ・学童クラブの充実 入所児童数71人以上の大規模学童クラブの分割	・こどもセンターの拡充 人員体制増(職員2名・非常勤2名) ひろばの拡充(施設内外) ・桜台学童クラブ増築工事 工期11/22-12/25
				長寿福祉課	在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などに対し、必要な内容のサービス事業を行なう。 また、高齢者が閉じこもり、介護を要する状態に陥らないようデイサービスや趣味・交流活動の場を提供する事業を行なう。 介護者の負担を軽減を図り、介護を社会的に支える体制の事業も行なう。	事業によっては、参加者が固定していることが課題。
3	市政全体に関する事	(1)	市役所における意思決定機関(部課長職)への女性登用を推進すること。	総務課	管理職への女性登用推進には、女性職員の育成が重要であることから、市町村アカデミーでの女性リーダー研修を継続しているほか、監督職(補佐、係長)への女性職員登用を推進するとともに、OJT研修を推進する取り組みを進めている。	将来の管理職候補者の育成につながるよう、女性職員の監督職への登用促進を図ったほか、監督職のOJT研修の強化を推進した。
				地域づくり課	今年度が各コミュニティ会議の役員改選期であることから、振興センター局長会議においてコミュニティ会議へ女性役員の登用について助言していただくよう依頼した。	規約を改正するなど新たに女性を登用したコミュニティ会議があり、少しずつではあるが女性の参画が図られている。
				総務課	男性の育児休業取得については、既に制度化されている。 現在まで、取得実績はなく、活用されない原因究明に取り組んでいる。	原因の究明を続けているものの、個々の家庭の問題でもあり、原因の確定には時間を要すると見込まれる。
				商工労政課	労働条件等実態調査等において岩手県、岩手労働局が実態の把握を行っており、本市の状況もこれに準じたものと類推されることから、市独自の把握は行っておりませんが、取得推進に向けた取り組みにつきましては、関係団体の活動を支援する形で、市も積極的に関わっております。	本年度においては、雇用情勢が著しい悪化となったことから、離職者対策・雇用創出に重点を置いたものとなっており、本件に関する具体的な取組みはありません。
(4)	審議会等の運営に関するガイドラインを策定するに当たっては、男女の比率のみに固執することなく、真に適任である者を選任することを第一義とすること。 また、その実現のために、委嘱の重複を避け、優れた人材の育成と発掘に努めること。	行政への市民参画の促進	総務課	審議会の運営に関する見直し並びにガイドラインの作成について、現在検討を進めている。	年度内を目処に取りまとめを進めている。	